
雪の上のピアニスト

怒苦絶汰露雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雪の上のピアニスト

【Nコード】

N1515B

【作者名】

怒苦絶汰露雨

【あらすじ】

都会の高等学校に通うピアノが趣味の「僕」は、町外れの森の中でピアノの音を聞く。そして僕は森の広場に一台のピアノと一人の人影を見る。

第1話「森の中で」

夜。その空の闇に水晶のごとく光る満月。その光を辺りに積もった雪は反射して、真夜中だというのにまるで昼間のような明るさだ。吐く息は白く、北から吹き寄せる冷風は、僕のこの身を震せる。周りの木々も、風に吹かれ木の葉が音を立てている。

ここは町外れの森の中。高層ビルが建ち並び、石塊の板が地面を覆い尽す最近の都心ではなかなか見掛けられない、僕のとっておきの憩いの場である。今日もまたいつものように、部活とピアノのレッスンの帰りにこの森で寄り道していた。いつも通り…静かだ。都会の雑音は、周りの木が防音壁になって全く聞こえない。耳をすませば聞こえてくるのは、木のざわめきに風のうねり、虫の鳴き声にピアノの音。

……あれ？

………ピアノの音？この森の中で？

でも確かに今………

いや、気のせいかな。都会の騒音でさえ、木に遮られてこれっぽちも聞こえないのに、ピアノの音が届くはずがない。

…疲れてるのかな。

早く家に帰ったほうがいいかも知れない。

そうおもって、家に向かい歩き出そうとした瞬間…

…また聞こえた。

今度はさっきよりもハッキリと。

あつ、また。

こんどは連続して聞こえた。多分何かの曲を弾いてるのだろう。音が木に反響して、いろんな方向から聞こえてくる。

どこから聞こえてるんだろう。もしかして、森の中にピアノが？

ぼくは段々と大きくなる音を頼りに、その音のもとへと向かった。大きくなるにつれて、音は徐々に鮮明になってきた。確かにピアノの音だ。

それに、なんて暖かみのある、やさしい音なんだろう。

ピアノの音に吸い寄せられるように歩いていくと、ようやく大きな広場が見えた。そして良く見てみるとその広場の中央に、自然の森の中で幾何学的な形の何か黒い違和感が見てとれた。

ピアノだ！やっぱり森の中にあつたんだ。

しかし奏者はピアノの向こう側にいて見えない。

誰だ？

僕は、この高まり気味の心のままに歩調を速め、そのピアノに向かった。

しかし、その広場に足を踏み入れた瞬間、ピアノの音がピタリと止まり、ピアノの陰から人影がサッと森の奥へ去っていった。

「ちょっと待って！」

そう言った時にはすでに人影は立ち止まることなく森の奥に消えていた。

一体誰なんだろう？

かすかに見えた人影、

短髪で、身長は160〜165cmぐらいの……男の子……かな？……
にしては随分としとやかな音を出すな。女の子かな？

でもあの容姿はどうみても男の子にしか見えない。とは言ってもハッキリと見えた訳ではないが。

……それにしても、本当に森の中にピアノがあるなんて。

何でこんなところに？

誰が持って来たんだろう？あの男の子だろうか？

……なんにしても、良いピアノだ。そして、良い場所だ。けやきの反響板が周りを360°囲み、

白い雪のステージに反射した水晶の月光が奏者とピアノをライトアップする。まるでドラマにでも出てきそうな憎い演出だ。

たしか、さっきあの男の子が弾いていた曲は……

「夜想曲第5番『雪』」

変ニ長調の、しっとりとしたノクターン。雪の降る夜をイメージし

て作られたと言われるこの現代曲は、今のこのシチュエーションに
ぴったりだ。

また聞きたいな。

…明日また来よう。

僕は、さっきまで聞いていたそのピアノの音を頭で奏でながら、帰
路をたどった。

続く!?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1515b/>

雪の上のピアニスト

2011年1月19日07時09分発行